

しょうがいしゃぎやくたいぼうし かんするく とりくみじょうきょう  
障害者虐待防止に関する区の取組状況について

へいせい ねんど しょうがいしゃぎやくたい つうほうとう じょうきょう へいせい ねん がつ1にち 30ねん1がつ  
1 平成29年度における障害者虐待の通報等の状況 (平成29年4月1日～30年1月末)

通報等の件数							38件	※数字は相談・通報・届出の総数		
虐待の種別	養護者		障害者福祉従事者等		使用者		その他			
	22		13		0		3			
虐待の種類 (重複あり)	身体的		性的		心理的		放棄・放任		経済的	
	14		2		12		8		5	
障害別 (重複あり)	身体	知的	精神	高次脳		発達		その他		
	4	15	10	0		0		0		

じょうきつうほうとう たいおうじょうきょう  
2 上記通報等への対応状況

養護者による虐待 22件			
<調査方法>	内 訳	・虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した	9
○訪問調査実施 8件		・虐待の判断に至らず	3
○関係機関からの情報収集のみ 14件		・虐待ではないと判断した	7
		・高齢者虐待として関係部署に取り次ぎ	3
上記の内訳の中で、高齢者虐待として関係部署に取り次ぎした件数を除く19件の対応			
●養護者からの分離 1件 (グループホーム入居に向けて準備中で短期入所利用)			
●関係機関による見守りや他部署での対応依頼 12件			
●養護者に対する助言、指導 1件			
●サービス内容(計画)の見直しや他サービスの利用に向け調整中 5件			
福祉施設従事者等による虐待 13件			
<調査方法>	内 訳	・虐待を認定	3
○訪問調査実施 10件		・虐待の判断に至らず	9
○関係機関等からの情報収集3件		・経過観察 (サービス内容の見直し・関係機関の見守り等を実施)	1
●上記の虐待の判断に至らなかった9件については、虐待とは認定できないが不適切な対応があることは認められる事案が多かった。背景にはどこの施設でも人材不足や人材の質の低下(人手不足から十分な指導が行えていない)が見られた。			
使用者による虐待 0件			
その他 3件 内訳			
○被虐待者が匿名のため対応不可 (聞き取り、相談のみ) 1件 ○苦情 1件			
○セルフネグレクト疑い 1件 ○家族間の問題 0件 ○病状によるもの 0件			